

# 委員会行政視察報告書

大崎市議会 調査活動概要報告書

## 1. 視察概要

委員会名	情報化対策特別委員会
委員名	中鉢和三郎、木内知子、八木吉夫、山田和明、後藤錦信、豊嶋正人、青沼智雄
日時	平成29年11月20日(月)～平成29年11月21日(水)
視察先	1. 埼玉県春日部市 2. 埼玉県越谷市
出席者 (説明者)	1. 埼玉県春日部市議会 矢島議員、石川議員 埼玉県春日部市議会事務局 木村局長、大和田主幹、小川主査 2. 埼玉県越谷市議会 岡野議長 埼玉県越谷市議会事務局 秋山主幹、鈴木主査、高橋主査

## 2. 視察内容

視察項目	1. 市議会だよりの編集について(埼玉県春日部市) 2. 議会中継について(埼玉県春日部市) 3. 委員会中継を含む議会中継について(埼玉県越谷市) 4. 市議会だよりの編集について(埼玉県越谷市)
視察内容	1. 市議会だよりの編集について(埼玉県春日部市) 議会だよりに発行に係る広報広聴委員会の構成は、委員長外7名でオブザーバーとして議長と副議長が入るといった構成でした。 発行日は、定例会後の発行で、3月定例会分の発行は5月1日、6月定例会の発行は8月1日、9月定例会の発行は11月1日、12月定例会の発行は2月1日となっていました。 議会だよりの編集から発行までの一連の流れ並びに議員のかかわりについては、一般質問を行った議員が一般質問初日から各議員が原稿作成を開始し、質問だけ原稿作成した議員は9日間で仕上げ、また質問と答弁の原稿作成を行う議員は20日間で仕上げるようになっていました。その後、執行部に2日間で原稿確認作業をしてもらい、議会事務局で原稿確認を行い、あわせて事務局において原稿編集から写真や資料の準備を行います。 一般質問の校正前原稿の納品を随時行う中で、事務局が原稿編集を終了した段階で、第1回広報広聴委員会を開き、レイアウト、中心となる議案や請願、表紙写真、一般質問の写真(写真は事務局で対応し、委員会において決定)その他では傍聴して一言の協議を行います。 第2回の委員会において、一般質問用写真やイメージ図等、全体的な記事の協議を行います。

その後、議会だより印刷業者へ入稿し、確認作業を経て業者へ印刷依頼という流れとなっていました。

広報広聴委員会の役割は、2回の委員会で、会議録でチェックし示されたものを手直していくことが主となっています。

## 2. 議会中継について(埼玉県春日部市)

議会中継後の配信までの流れについては、中継終了後に業者へ閉会の連絡、業者において編集作業で、余計な映像等のカット作業を行い、市に編集されたデータが届き職員による内容確認を経てVOD配信を行っています。

VOD配信では、録画映像を視聴者が観たいときにさまざまに細分化されたコンテンツを視聴できるサービスの配信を展開していました。

## 3. 委員会中継を含む議会中継について(埼玉県越谷市)

議会運営委員会における検討の中で、より開かれた議会を目指し委員会中継の検討を進め、平成 29 年6月定例会より総務常任委員会中継の録画中継を試行し、議会運営委員会における検証の結果、8月1日よりインターネットによる配信を開始しています。

平成 29 年9月定例会においては、民生常任委員会、決算特別委員会の録画を試行し、今後の予定としては、常任委員会は1定例会につき1委員会をローテーションと予算特別委員会を実施予定とのことでした。

現状の委員会録画中継は、新庁舎の建設が予定されており建替え前に多額の設備投資は不適との判断から、音声入力の品質を保ちつつ、簡易的な設備で既存の機械や議会中継システムを活用することを考慮し導入設備を検討し、移動式カメラ(メモリーカードカメラレコーダー)を用いての委員会録画中継となっていました。

また、委員会中継の今後の方向性については、2020 年に新庁舎の建設計画があり、新庁舎の建設計画とあわせて検討することになるとのことです。

## 4. 市議会だよりの編集について(埼玉県越谷市)

議会だよりはタブロイド版でありました。一般質問の原稿については、発言議員から一般質問の項目指定を受け、その項目について会議録データを参考に事務局で原稿を作成し、議員に確認を取る方法で行っており、定例会閉会后2カ月の期間で発行しています。

議会だより編集に係る議員の体制としては、議長、副議長、会派から選出された議員により議会報専門協議会が設置されており、校正、表紙写真、掲載する写真等を協議し決定していました。

また、表紙写真の市民からの募集については、表紙写真公募要領により平成 24 年

	<p>8月から開始しており、これまで5回採用しているとのことでした。</p>
<p>考 察</p>	<p>春日部市における市議会だより作成に当たっては、議会事務局で概ね編集作業を行っており、印刷業者との校正の流れもスムーズでありました。</p> <p>また、議会定例会のスケジュールにおいても、各定例会が月前半にはじまり月内に終了する日程で組まれており、各月で各編集作業も区切れる状況で、そこが定例会翌々月の市議会だより発行としている一つの要因であると感じました。</p> <p>越谷市では、試行的に委員会録画中継を実施しており、新庁舎建設に向けて検討が開始されていました。市議会だより編集についても、表紙写真の市民からの募集や傍聴者からの一言を掲載するなど、市民参加型の取り組みが感じられました。</p> <p>本市においても本庁舎建設の計画が進もうとしている中、議会における市民目線に立った情報発信の方向性をしっかりと位置づける作業に着手すべきと感じました。議会だよりについても、これまで以上に市民の皆さんに親しまれ、愛読される紙面づくりへの努力が必要と感じました。</p>

以 上